

## PRESS RELEASE

2022年8月10日

各位

本店所在地 東京都千代田区麹町二丁目1番地  
会社名 そせいグループ株式会社  
(コード番号 4565 東証グロース)  
代表者 代表執行役社長 CEO  
クリストファー・カーギル  
問い合わせ先 IR & コーポレートストラテジー部  
西下進一郎  
電話番号 03-5210-3290 (代表)

## 2022年12月期第2四半期(1月-6月) ビジネスハイライトおよび連結業績について

当社グループは本日、2022年12月期第2四半期(1月-6月)における事業の概況および連結業績を発表しましたので、お知らせします。2022年12月期第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)全文は[こちら](#)をご覧ください。

当社代表執行役社長 CEO であるクリストファー・カーギルは次のように述べています。「2022年上期は、当社グループにとって実り多い期間となりました。当社の新経営体制はすぐに軌道に乗り、アジャイルかつ世界最先端の創薬・トランスレーショナルメディスン機能の構築、複数プログラムを持つ臨床段階のバイオ医薬品企業への転換を加速させるため、ビジネス上の重要な取り組みを進めています。

当社グループは、患者さまが必要とする医薬品をできるだけ早く効率的にお届けすること、そして株主の皆さまに大きな価値をご提供することに、引き続き注力していきます。その実現のために、独自の高い能力と専門知識を拡大し、新たなテクノロジーを有する企業と提携し、新たな創薬の機会を発見し、検証し、遂行するための能力を強化し、加えて、大手製薬企業と価値の高い提携を行います。2022年に入り、当社グループはこれらすべての分野で前進することができました。

最近のアッヴィ社との2件目の提携、ニューロクライン社との臨床開発におけるマイルストンの達成を含むこれらの成果は、当社グループの事業の強みと、主要な疾患をターゲットとする強力な開発候補品を生み出す能力を示しています。これは、当社グループが今後も成功を続けていくための大きな自信になるものです。」

### 2022年12月期第2四半期(1月-6月) ビジネスハイライト

- **当社グループの次のステージへの発展に向けた新経営体制を発足** — 現在の強みをさらに強化し、創薬・開発における業界最高レベルの企業を目指す

## PRESS RELEASE

- **Weatherden 社との戦略的提携によるアジャイル開発の導入とトランスレーショナルメディスン機能の強化** — 複数のプログラムの優先順位付けと開発の加速により、迅速な第 I b/II a 臨床試験での臨床コンセプトの実証（POC の取得）を目指す。臨床コンセプトの実証は将来の提携の推進と成長機会の拡大に資する価値創造のための重要な転換点
- **英国グラント・パークの研究開発拠点を拡大** — 複数プログラムを有する臨床段階のバイオ医薬品企業へと当社グループが前進すると同時に、大手バイオ医薬品企業の創薬・開発パートナーとして選ばれ続けるという戦略に基づくもの
- **Verily 社との新規戦略的研究開発提携** — Verily 社の持つ免疫プロファイリング能力と、当社グループの持つ GPCR 構造ベース創薬技術を集約し、免疫疾患に対する新薬候補の創出を目指す

## 2022 年 7 月 1 日以降のハイライト

- **アッヴィ社との神経疾患における複数のターゲットを対象にした研究開発・製品化に関する新規提携** — 炎症性疾患および自己免疫疾患を標的とした既存の提携の範囲をさらに拡大する 2 つめの提携。当社グループは、新薬臨床試験開始申請（IND）までの研究開発活動を行い、研究開発資金を負担する。アッヴィ社は、現段階で最大 3 つのプログラムについて独占的なライセンスオプションを有し、その後の臨床試験、申請・承認、商業化を担う。当社グループは、契約締結時に 40 百万ドルを受領し、今後 3 年間で最大 40 百万ドルの初期開発マイルストーンを受領する権利を有しており、さらにオプション、開発・販売の達成に応じた、最大 12 億ドルのマイルストーンに加えて、グローバルでの販売高に応じた段階的ロイヤリティを受領する権利を有する
- **ニューロクライン社とのムスカリン受容体作動薬に関する複数プログラムを対象とした提携で臨床開発におけるマイルストーンを達成** — 統合失調症を対象とした経口 M4 受容体作動薬 NBI-1117568（旧開発コード：HTL-0016878）の第 II 相臨床試験の新薬臨床試験開始申請（IND）が米国食品医薬品局（FDA）に受理され、ニューロクライン社が同試験を開始する意向を確認。このマイルストンの達成により、当社グループはニューロクライン社から 30 百万米ドルを受領する。ニューロクライン社は同試験を 2022 年下期に開始する見込み
- **世界最大の民間がん研究基金である Cancer Research UK（英国王立がん研究基金）との免疫療法薬の臨床試験実施に関する契約** — Cancer Research UK が新規選択的 EP4 拮抗薬 HTL00397322 の第 I/II a 相臨床試験の資金拠出、デザインおよび実施を担う。他の免疫療法と併用することで様々ながんの効果を発揮する可能性

## 2022 年 12 月期第 2 四半期（1 月-6 月）の業績ハイライト

- 売上収益は、前年同四半期（2022 年 1 月-6 月）比 666 百万円減少し、2,457 百万円となった。これは主に、前年同四半期（2021 年 1 月-6 月）に 5 件のマイルストーンを達成した一方、当第 2 四半期連結累計期間には 2 件のマイルストーンを達成したことによるもの。

## PRESS RELEASE

- 研究開発費は、前年同四半期（2021年1月-6月）比1,100百万円増加し、3,698百万円となった。これは主に、当社グループが独自で行う創薬および初期開発への投資の増加、および医薬品の開発を加速させるための構造改革費用によるもの。
- 一般管理費は、前年同四半期（2021年1月-6月）比331百万円増加し、2,265百万円となった。これは主に、医薬品の開発を加速させるための構造改革費用の増加、インフレに伴うコスト上昇と円安による影響によるもの。
- 営業損益は3,804百万円の損失（前年同四半期（2021年1月-6月）は1,849百万円の損失）となった。営業損失が増加した主な要因は、上述の営業費用の増加によるもの。
- 四半期損益は3,538百万円の損失（前年同四半期（2021年1月-6月）は2,297百万円の損失）となった。これは主に、上述の営業損失が増加したこと等によるもの。
- コア営業損益<sup>1</sup>は2,378百万円の損失（前年同四半期（2021年1月-6月）は800百万円の損失）となった。
- 2022年6月30日における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6,431百万円減少し、53,656百万円となった。

以上

### Sosei Heptares について

当社グループは、Gタンパク質共役受容体（GPCR）をターゲットとした独自の StaR®技術ならびに構造ベース創薬（SBDD）技術から生み出される新薬候補物質の探索および初期開発にフォーカスした、国際的なバイオ医薬品企業グループです。当社グループは神経疾患、免疫疾患、消化器疾患、炎症性疾患など複数の疾患領域において、幅広いパイプラインの構築に取り組んでいます。

これまでアッヴィ社、アストラゼネカ社、バイオヘイブン社、ジェネンテック社（ロシュ・グループ）、GSK社、Kallyope社、ニューロクライン社、ノバルティス社、ファイザー社、武田薬品工業株式会社、Verily社などの大手グローバル製薬企業および新興バイオ医薬品企業と提携しています。当社グループは、東京に本社を置き、英国のケンブリッジに研究開発施設を有しています。

「Sosei Heptares」は、東京証券取引所に上場しているそせいグループ株式会社（証券コード 4565）のコーポレートブランドです。「そせい」、「Heptares」、当社グループのロゴおよび StaR®は、当社グループの商標または登録商標です。

詳しくは、ホームページ <https://soseiheptares.com/> をご覧ください。

LinkedIn: [@soseiheptaresco](https://www.linkedin.com/company/soseiheptaresco)

Twitter: [@soseiheptaresco](https://twitter.com/soseiheptaresco)

YouTube: [@soseiheptaresco](https://www.youtube.com/channel/UCsoseiheptaresco)

<sup>1</sup> コア営業損益は、中核事業の経常的なキャッシュ創出能力を示すために、重要な非現金支出費用や一時的な費用を調整した代替的な業績評価指標